

町田市

2023年1月 第100号

農業委員会だより

発行・編集：町田市農業委員会・農業委員会だより編集委員会

町田市森野2-2-22 Tel: 042-724-2169

新年を迎えて ～町田市農業委員会会長 吉川庄衛～

農家の皆様、あけましておめでとうございます。コロナ禍に加えてその他世界的要因で、昨年より肥料、飼料、諸資材や、ガソリン等光熱費の物価高騰の影響を受け農家の皆様には、何かと影響が大きくなってきていると思いますが、新年にあたり一日も早く日常が戻り、2023年が実りの多い一年となりますようご祈念いたしております。

さて、近年都市農業や農地を巡る税制を含めた制度改革が相次いで行われ、農業者のために有効適切に活用されるよう、町田市農業委員会では取り組んで参りました。しかし、持続可能な都市農業にとって、創意工夫をして努力してきた農家の生産現場にそぐわない制度も多く、特に、追加指定を含めた本年1月1日告示の生産緑地面積は、約197.92haで昨年より約5.12ha減少し依然として減少が続いています。一方、都市農地貸借円滑化法が施行され、生産緑地の貸借が可能になりました。この制度によって相続税納税猶予適用農地も貸す事が出来、借地権など発生せず期限が到来すると農地所有者に必ず返還されることとなります。

本年も先祖から受け継いだ農地を守ってきた農家が報われ、市内農業をさらに発展させ、町田市の都市づくりにも貢献できるよう皆様の意見をお聞きし、国や都への要望を続けてゆきたいと思っております。農地に関する事は、地元の委員や事務局にぜひご相談下さい。農家の立場に立って、助言等させて頂いておりますのでご理解の程お願い申し上げます。

農家の皆様、JA町田市、関係団体や関係機関のご協力を頂きながら委員一同努力して参ります事をお誓いし、年頭の挨拶とさせていただきます。

さて、私ことこの度、秋の叙勲に際しまして、囃らずも「旭日双光章」拝受の栄に浴し身に余る光栄で御座います。これもひとえに、永年にわたって皆様より戴いたご指導ご協力の賜物と厚く御礼申し上げますと共に、ご報告させていただきます。

この榮譽に恥じぬよう、微力では御座いますが一層精進致す所存でございます。



吉川庄衛会長が令和4年秋の叙勲で旭日双光章を受章!!



このたび、町田市農業委員会会長であり、東京都農業会議副会長でもある吉川庄衛会長が、令和4年秋の叙勲で『旭日双光章』（農業振興功労）を受章されました。

『旭日双光章』とは、社会の様々な分野における功績を対象として、国や公共のために功労があった方を国が表彰するものです。

長年にわたり都市農業振興に貢献されたことが評価され、このたび受章となり、2022年11月15日東京都庁にて勲記及び勲章を小池知事より伝達されました。長年のご功績に対する、栄えあるご受章、大変おめでとうございます。

1994年（平成6年）に生産緑地の指定を受けた方は 2023年3月末が特定生産緑地の申請締切となります！

平成6年指定の生産緑地を特定生産緑地に移行を希望される方は **2023年3月31日（金）までに**
申請書を提出していなければ特定生産緑地の指定を受けることができなくなります。

指定を希望される方はお忘れの無いようご注意ください。

（申請書は平成6年、7年指定の生産緑地を所有している方に2022年9月頃にお送りしています。）

※窓口で、申請の判断やメリットデメリット等、個別に相談を行っています。

【特定生産緑地についてのお問い合わせ】土地利用調整課 電話：042-724-4254

現に耕作されている市街化区域の農地を生産緑地にしませんか？

追加指定が可能な農地とは

新規対象農地	以下の項目を満たす必要があります。
	① 同一街区内または隣接街区を含めた区域で一団として300㎡以上が確保できること。（一団と認められるか否かは申し込み後に市で確認します。）
	② 登記及び固定資産税の地目が田・畑（農地）であること。
	③ 市街化区域内の農地で、現に耕作されていること。
	④ 30年以上の営農が期待できること。（故障や死亡により解除の手続きが出来ます。）
⑤ 連坦しない個々の農地面積は100㎡以上の一筆単位であること。	
再指定 対象農地	次のいずれも対象となります。
	○過去に生産緑地を解除した農地
	○農地転用届け出済み農地（農地継続の確認のため別途「申出書」が必要です。）

事前募集の期間等について（期間厳守）

願書配布場所：町田市役所9階905農業振興課（町田市ホームページでもダウンロード可）

事前募集日時：2023年1月10日（火）～1月31日（火）まで（土・日・祝日を除く）

受付場所：町田市役所9階905農業振興課

受付時間：8：30～17：00（12：00～13：00を除く）

提出書類：生産緑地地区指定願書、案内図、公図写し・全部事項証明書（発行から3ヶ月以内の原本）、
申出書（農地転用届け出済み農地の場合）

都市農政議員懇談会視察研修を3年ぶりに実施しました

昨年9月26日に都市農政議員懇談会視察研修を3年ぶりに実施しました。この研修は、市議会議員の皆様が町田市の農業の現状や課題を認識していただくとともに、新しい制度を活用した取組みの事例等を視察していただくもので、他市では例のない農業委員会活動の一つです。

今年度は、JA町田市の育苗センター、町田市農業研修農場、新規就農者農地の3か所を視察した後、東京都農業会議の青山侑会長より「東京の農業とまちづくりについて」、東京都農業会議事務局の相原事務局長より「東京都農業会議の役割について」の講演をしていただきました。



第49回町田市農業祭が開催されました！

11月12日（土）・13日（日）の2日間、町田シバヒロで農業祭が開催されましたが、当日は晴天に恵まれたこともあり、多くの来場者にお越しいただきました。今年度は、例年2月に開催している農業祭表彰式を13日（日）に実施し、多くの来場者が観覧する中での受賞者の発表や、名誉委員長である石阪市長から受賞者に対しての記念品の授与を行いました。農業委員会ブースでは、正月飾りやワラボウキのわら細工づくり体験会と、販売会を行いました。体験会では、小さいお子様からお年寄りまで楽しんで参加していただき、とても素敵な作品を作られました。



農業委員会ブースは盛況でした！



上手に正月飾りができました



農業祭表彰式の様子

2022 年度特別賞名	農産物品評会（野菜・植木）	営農技術競技会・畜産共進会
東京都知事賞	廣瀬昌則 様（ハクサイ） 横田竜雄 様（アオハダ）	中溝章雄 様（ハウストマト）
町田市市長賞	中溝章雄 様（フロッコリー） 渡邊俊之 様（マツ）	廣瀬忠男 様（キュウリ） 北島隆 様（乳牛共進会）
町田市議会議長賞	廣瀬昌則 様（ダイコン） 榎本佳央 様（シャラ）	中島公明 様（露地トマト）
町田市農業委員長賞	荻野福光 様（カキ） 渋谷功 様（ヤマボウシ）	森祐樹 様（ナス）
町田市農業協同組合 組合長賞	大塚和一郎 様（コマツナ） 渡邊俊之 様（キンズ） 大塚美喜子 様（サトイモ）	

米作り農業体験～稲刈り・収穫祭～

昨年の夏は猛暑と大雨が続きましたが、春に植えた苗は順調に生育し、10月1日（土）に無事稲刈りを迎えることが出来ました。稲刈りの後には農業委員等により稲を脱穀し、脱穀後の稲わらは農業祭や小学校でのわら細工に活用されました。

11月27日（日）の収穫祭では、杵と臼を使った餅つき体験、押し棒を使った押し餅体験をしてもらいました。また、毎年好評の野菜釣りゲームをしたりと、楽しいひと時を過ごされました。一年を通して自分達の作ったお米がお餅になっていく様子を実際に体験することで、農と食の大切さを子供たちにご理解いただけたのではないかと思います。



稲刈りの様子



収穫祭でのお餅つき



野菜釣りゲーム

わら細作りを市内の小学校で行いました

12月1日に、町田第三・小山田・小山田南小学校の五年生を対象にわら細作りを教えました。米作り農業体験で刈り取った稲わらを使い、子供たちは「正月飾り作り」や「縄作り」に真剣に取り組んでいました。この体験により、収穫した後のわらを有効活用してきた日本の伝統文化について学ぶきっかけになることを願っています。皆さん一生懸命に取り組んでいました。



わら細作りの様子



完成したお飾り



わら細作りの様子

生産緑地を耕作することにお悩みの方へ

～都市農地の貸借の円滑化に関する法律のご利用について～

健康に不安のある方やご高齢の方など、生産緑地としての管理ができなくてお困りの方はいませんか？

2018年9月に都市農地の貸借の円滑化に関する法律が施行され、生産緑地の貸借が出来るようになり、町田市においても現在までに20件、約3.8haの貸借が行われています。農地法による貸借とは異なり、農地を貸しても借地権が発生しないことから、契約期間経過後に農地が返ってくるため安心して農地を貸すことが出来ます。また、相続税納税猶予制度の適用農地でも貸すことが可能です。

生産緑地の貸借を希望される方は、農業委員会事務局までお問合せください。

農業委員会事務局よりお知らせ

●農業者年金に加入しませんか？

農業者年金は加入者・受給者数に左右されにくい積立方式での公的年金です。ご興味がある方はぜひ、農業委員会事務局までご連絡ください。

●全国農業新聞を読みませんか？

全国農業新聞は農業者の公的代表機関である、全国農業会議所が発行する農業総合専門紙です。
★ 購読料 月700円 ★ 発行日 毎週金曜日

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年は猛暑や降雨で農作物に被害がでたり、農作業にはご苦労されたことと思います。農業委員会では、市民の皆様に米作り体験をしていただき、最後に収穫したもち米でお餅をつき、一連の流れを体験していただきました。

本年も同様に計画をすすめる予定でいます。新年が皆さんの経験と技術で干支のうさぎのように元気に跳ね、良い年となることをご祈念申し上げます。

【編集委員長】山下 【編集副委員長】井上 【編集委員】吉川、横田、矢沢、本橋、臼井
農業委員会事務局 TEL 042-724-2169 経済観光部農業振興課 TEL 042-724-2166